

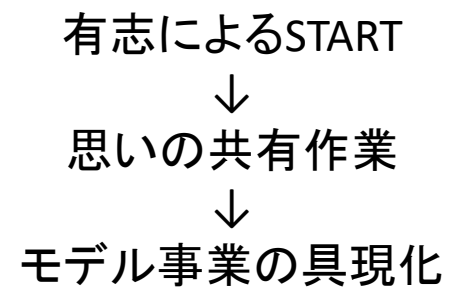
板橋区の部活動改革

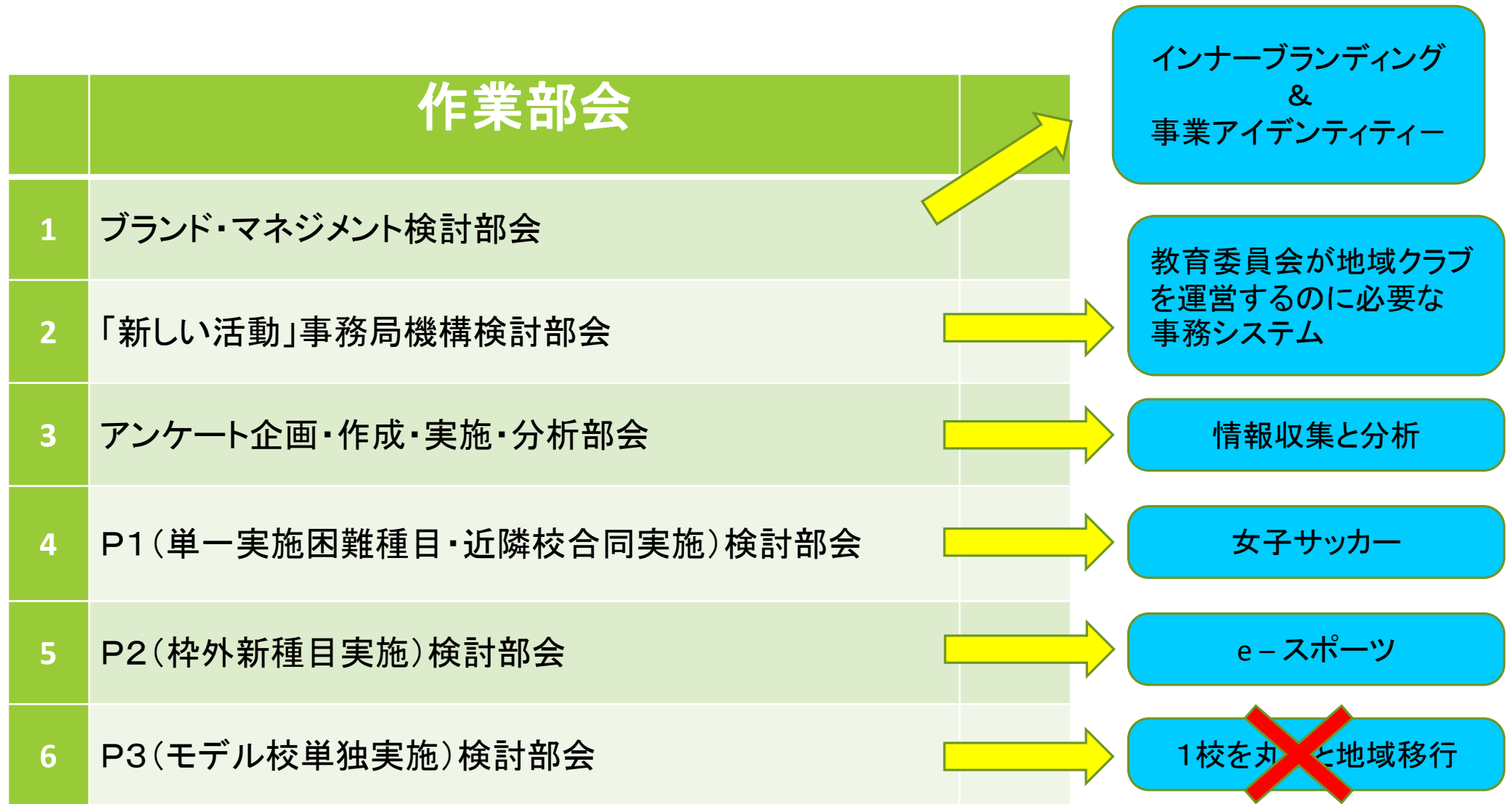
～2022年度 1STステージ；実践研究モデルとしてのいたばし地域クラブの立ち上げ

～2023年度 2NDステージ；部活動地域移行推進ビジョン2030の策定

2024年度～ 3RDステージ；持続可能体制の模索

1stステージ; 実践研究モデルとしてのいたばし地域クラブの立ち上げ





2 広報 いたばし 令和6年(2024年)6月8日(土)

3 広報 いたばし 令和6年(2024年)6月8日(土)

「いたばし地域クラブ」が活動中!!

夢中になれるを
応援する



詳しくは
こちらから

問 合 教育総務課部活動改革担当係 ☎3579-2261

なぜ部活動改革が必要なのか?

区では、少子化による部活動の選択肢の減少や教員の献身的な支えの限界などにより、持続可能性の面で厳しさを増している区立中学校の部活動を学校教育から社会教育分野へ「地域移行」し、生涯スポーツ活動・生涯学習活動とする新たな仕組みの構築をめざしています。

その取組の一つとして、板橋区教育委員会が運営団体として実施する「いたばし地域クラブ」を立ち上げました。



女子サッカークラブ



ロボット数学クラブ

ロボット×数学ってすごい



指導者 (株)HILS 船曳智郎 さん

チャレンジすることの大切さを教えられると思っています。失敗から新たな発見があったり、私たちが思いつけない柔軟な発想が出ることもあります。子どもたちの柔軟な発想・新しい可能性を否定せず、大切にしたいと心がけています。



本村五中8年生 窪田 隼一 さん

父がプログラマーなので、いつか自分もプログラミングができるようになって手助けしたいと思い、参加しました。高校生レベルの数式が出てきますが、解けたときはやりがいを感じます。

【メニュー】 ▶ 分野・活動日時・ところ

- 数学・オンライン…火曜16時30分～18時30分
- 数学・対面…金曜17時～18時30分、板橋一中
- ロボット実習…土曜14時～17時、赤塚二中

▶ 内容＝ロボット実習・実習に必要な数学概念の学習など ▶ 費用＝月額2000円 ▶ 定員＝50人

eスポーツクラブ

ゲームだってスポーツだ



高島三中8年生 中野 凌佑 さん

もともとゲームが好きで興味があり、eスポーツクラブに参加しました。専門的なアドバイスやコツを教わり試すことで、あきらめない気持ちが鍛えられました。対戦で勝つとうれしいので、これからも磨けるように頑張っていきたいです。

指導者 クラーク記念国際高等学校 CLARK NEXT Tokyo 大村 尚 さん

生徒一人ひとりの性格やプレイスタイル・個性を伸ばしてあげたいと思っています。丁寧なコミュニケーションを心がけています。また、ゲームの技術的な操作以外にあいさつ・マナーなども意識して教えるようにしています。仲間との協力やコミュニケーションの大切さが育めるクラブです。



【メニュー】 ▶ 活動日時＝水曜16時30分～18時 ▶ ところ＝クラーク記念国際高等学校 CLARK NEXT Tokyo(板橋4-11-4) ▶ 内容＝オンラインゲーム「リーグ・オブ・レジェンド」の操作・攻略方法の講習など ▶ 費用＝月額2000円 ▶ 定員＝60人

「憧れ」から一歩 踏み出して



板橋五中8年生 浜野 夏帆 さん(左)

小学6年生の時にサッカー日本代表の試合を観戦し、自分もやってみたくて思いました。仲間と協力してゴールを決められた時はうれしいです。

上板橋二中8年生 中村 莉音 さん(右)

女子だけでプレイできる環境があったので入部しました。他校の生徒とも仲良くなれるところが楽しいと思います。このチームでもっと強くなりたいです。

指導者 (株)スポーツオアシス 江利川 準人 さん

何事にもチャレンジする姿勢を優先しながら、生徒がなぜこの練習が必要なのか、理解できるように指導しています。また、コミュニケーションや発言の機会も大切にしています。サッカーの基本的な技術はもちろんですが、クラブ活動を通じて人としても成長できるような環境を築きたいと思っています。



【メニュー】 ▶ 活動日時＝日曜9時～11時 ▶ ところ＝上板橋一中(小茂根1-2-1) ▶ 内容＝サッカーの練習、練習試合の実施や大会への参加、トレーニング体験イベントなど ▶ 対象＝女子中学生(全学年) ▶ 費用＝月額2000円※別途ユニフォーム代など1万円程度 ▶ 定員＝33人

サイエンスクラブが活動開始

5月に、様々な実験・研究や企業などの訪問・見学を通じて、たくさんの発見と出会うクラブが誕生しました。

▶ ところ・活動日時

- 教育科学館…金曜17時～18時30分
- 志村四中…水曜16時30分～18時

▶ 内容＝科学実験・教育科学館での実験イベントの実施など ▶ 費用＝月額2000円 ▶ 定員＝●●各20人



興味がある中学生は参加してみよう!

いたばし地域クラブは、区立中学校在籍の方または区内在住の中学生が参加できます。

体験入会

各個別クラブの活動内容・雰囲気などをぜひ、体験してみてください。

※体験入会には各クラブの体験申込方法など詳しくは、区ホームページをご覧ください。

※開催日時など詳しくは、区ホームページをご覧ください。

いたばし地域アカデミー

中学生のみならず、[やってみよう]「もっと知りたい」とスポーツ・文化芸術活動に興味を持ってもらえるような科目・分野を揃えた共通講座を実施します。ぜひご参加ください。

※開催日時など詳しくは、区ホームページをご覧ください。

※板橋区では、小中一貫教育を推進しているため、区立中学校の学年を7～9年生と表記しています。

2ndステージ;「部活動地域移行推進ビジョン2030」の策定

誰のために 何を したいのか



地域移行か 地域連携か



実現のための戦略



板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン 2030
板橋区立中学校部活動地域移行実施計画 2025



板橋区教育委員会

2024年3月 策定

区立中学校部活動地域移行検討会議 委員
(任期；令和5年4月～令和6年3月)

1	会長	関東学院大学経済学部 教授 青柳 健隆
2	副会長	関東学院大学経営学部 准教授 岡部 祐介
3	委員	板橋区体育協会 専務理事
4	委員	板橋区文化団体連合会 事業副部長
5	委員	板橋区青少年委員会 会長
6	委員	区立中学校 コミュニティ・クール委員会 委員長
7	委員	区立中学校PTA連合会 副会長
8	委員	区立小学校PTA連合会 会長
9	委員	区民公募委員
10	委員	教育委員会事務局次長
11	委員	地域教育力担当部長
12	委員	区民文化部長
13	委員	小学校長会 会長
14	委員	中学校長会 会長

策定過程；

- 第1回 4月21日 「策定方針説明」
- 第2回 8月21日 「骨子案検討」
- 第3回 10月23日 「素案検討」
- 第4回 1月10日 「原案検討」

部活動に対する意識調査(Web調査)

(1) 教員調査

対象者；554名

回答者；188名

期 間；令和5年7月14日～9月12日

(2) 生徒調査

対象者；9,343名

回答者；4,021名

期 間；令和5年10月13日～12月4日

(3) 保護者調査

対象者；9,601名

回答者；1,675名

期 間；令和5年10月20日～11月6日

全体の構成

第1部 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030

序章 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030 の策定にあたって

- 1 ビジョン策定の背景
 - (1) 部活動改革実施の背景
 - (2) 部活動改革実施の目的
- 2 板橋区立中学校部活動の現状
 - (1) 部活動の設置状況
 - (2) 部活動の活動状況
 - (3) 部活動に対する教員・指導者の状況
 - (4) 部活動の廃部、創部の状況
- 3 部活動に対する意識調査結果
 - (1) 調査の概要
 - (2) 調査結果の分析
 - (3) 各調査の集計結果概要
- 4 学校部活動における課題
 - (1) 持続可能性への懸念
 - (2) 生徒の成長機会
 - (3) 活動の過熱化
 - (4) 生涯スポーツ社会・生涯学習社会の醸成

第1章 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030

- 1 めざす将来像
- 2 子どもたちへのメッセージ
- 3 第一次目標(直近のマイルストーン)
- 4 重点戦略
- 5 計画期間
- 6 ビジョンの位置づけ
- 7 推進体制
- 8 推進方針

第2章 部活動改革の取組にあたっての課題

- 1 取組にあたっての主な課題

第2部 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025

第1章 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025 の策定にあたって

- 1 計画の位置づけ
- 2 計画期間

第2章 重点戦略と取組

- 1 取組一覧
 - 2 取組の紹介
 - 重点戦略1 行政による地域クラブの推進
 - 重点戦略2 地域連携の活用
 - 重点戦略3 地域展開の環境整備
- 共通項目

(誰のために 何を したいのか)

めざす将来像

区立中学校の部活動を学校教育から社会教育分野へ地域移行し、
すべての人々が、多様な分野で、多様な価値観で、
生涯にわたり、スポーツや文化芸術、学問に親しめる第三の居場所をもち、
人生を豊かに過ごすことができるまち

(誰のために 何を したいのか)

(1) 生徒視点のアウトカムイメージ

放課後や週末に、家庭や学校とは別の居場所として、スポーツや文化芸術、学問に親しむことができる活動の場を見つけることができます。

そこで、好きな数だけ、自分に合った方向性で、成長する機会を誰もが得ながら希望する種目・分野の活動に取り組めます。

その取組は、人とのつながりを含めて生涯にわたり、続けることができます。

(誰のために 何を したいのか)

(2) 教員視点のアウトカムイメージ

学校部活動での指導がなくなり、自身の人生をより豊かにするような週末の過ごし方ができるようになります。

そのため、自身の選択で、地域クラブ活動に参加することも可能です。

多様な知見と心のゆとりを得られ、充実した気力をもって、生徒一人ひとりに向き合い、学校生活を楽しみに満ちたものにしていきます。

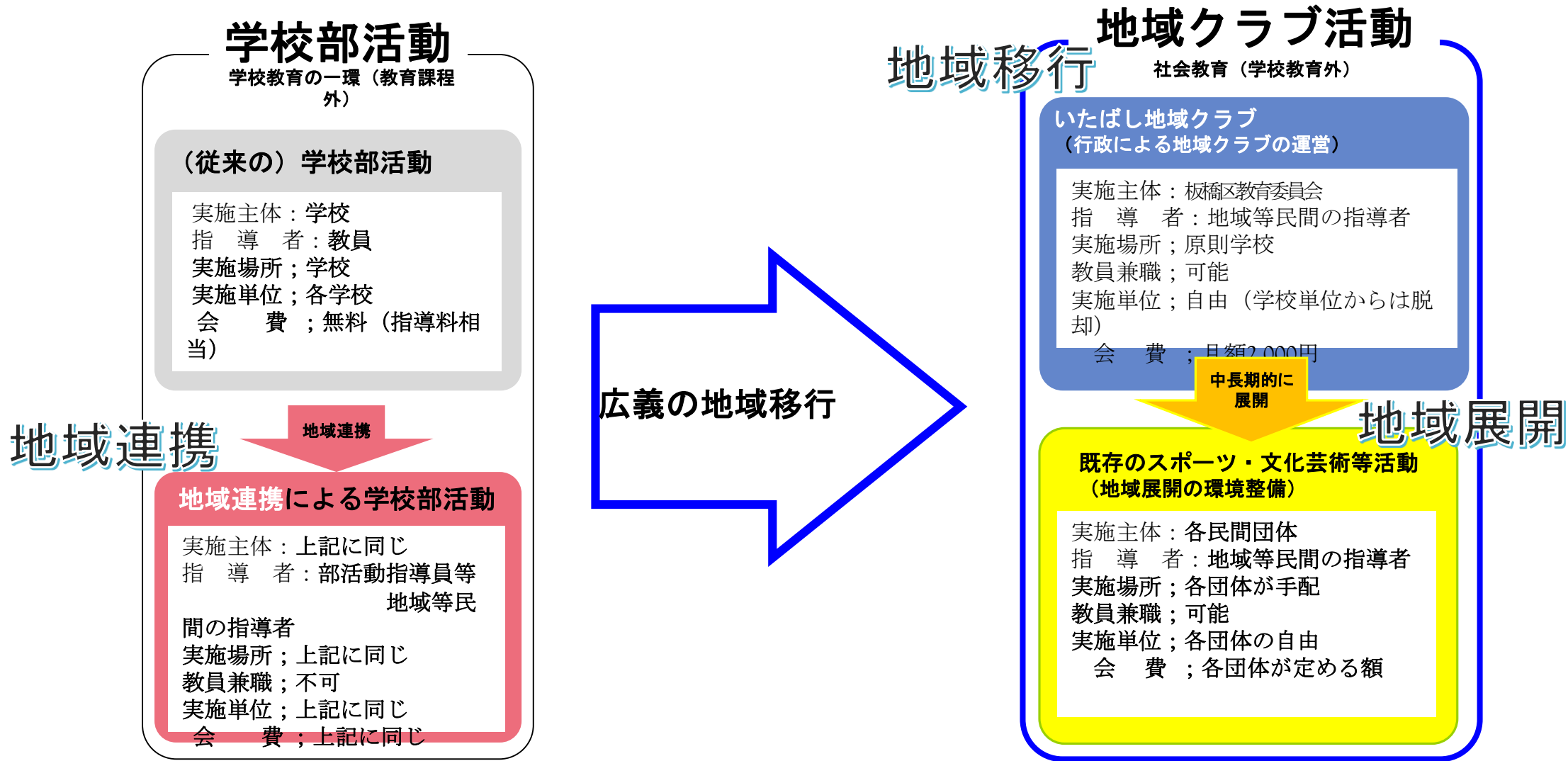
(誰のために 何を したいのか)

(3) 生涯スポーツ社会・生涯学習社会視点のアウトカムイメージ

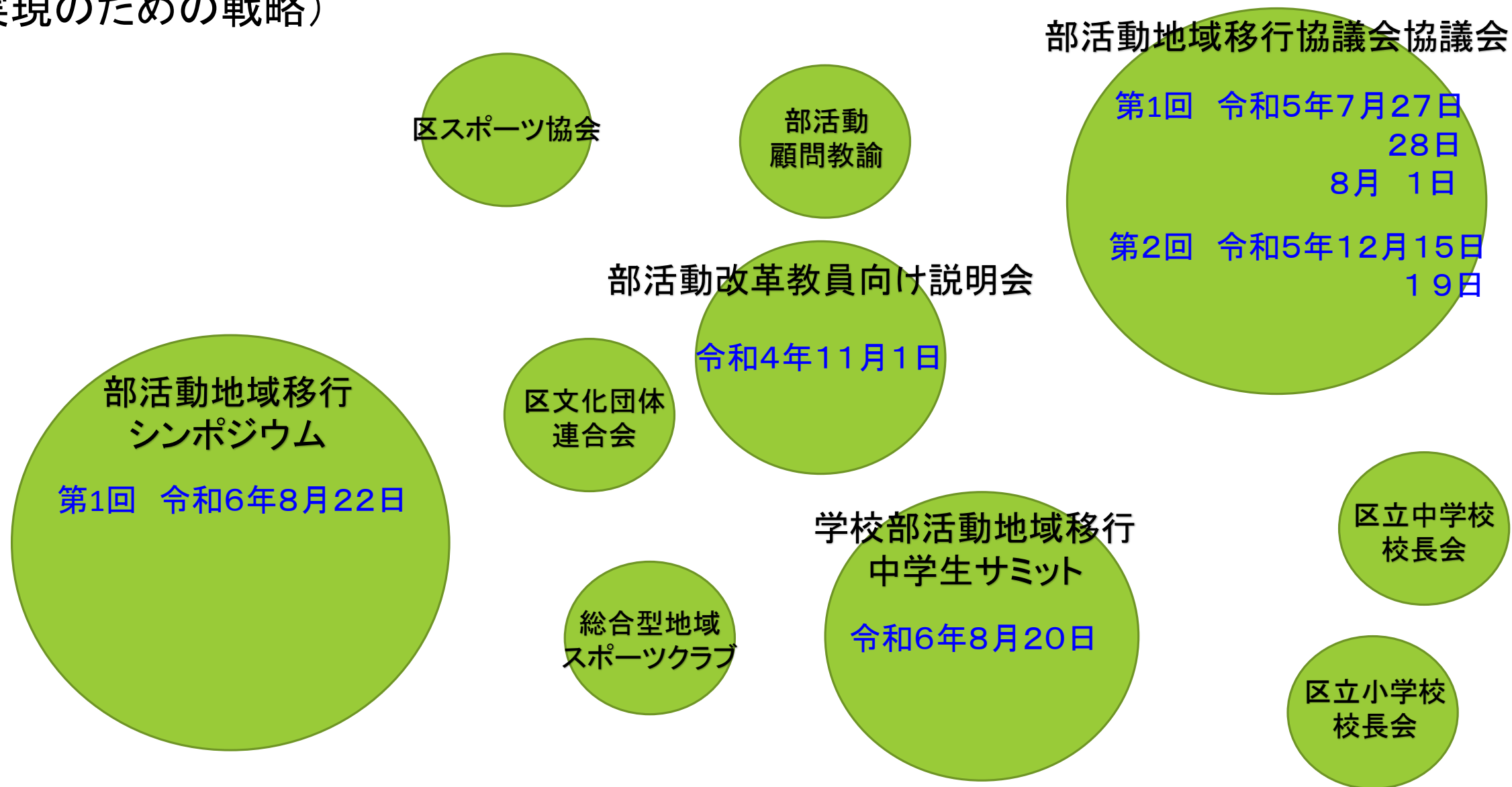
区内各地域で行われるスポーツや文化芸術活動では、新しい仲間として中学生を受け入れることで、多様な世代の交流が生まれます。

多様な参加者を得られた板橋区のスポーツや文化芸術、学問の活動は、より活発になり、人生100年時代を生きる区民の豊かさの源泉となります。

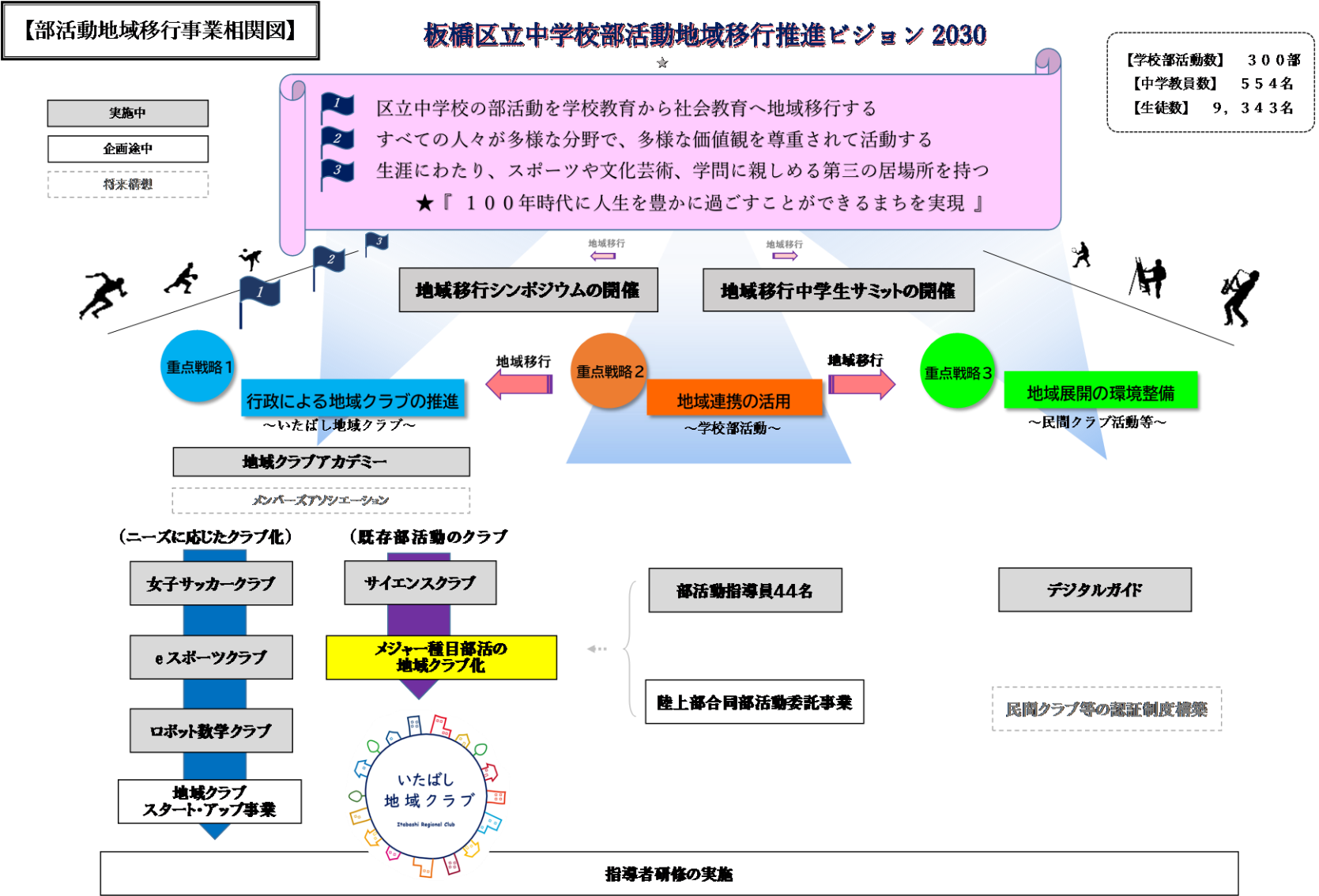
(地域移行か 地域連携か)



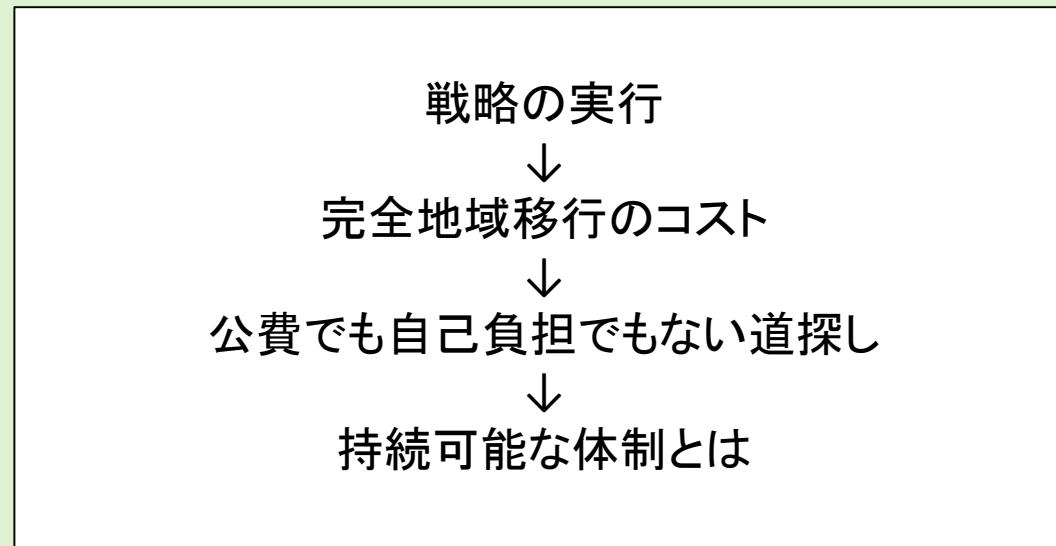
(実現のための戦略)



(実現のための戦略)



3ndステージ; 持続可能体制の模索



(戦略の実行)

種 目	サッカー	バスケットボール	バレーボール	ソフトテニス	卓球	バドミントン	野球	剣道	陸上
区内部員数 (男女合計)	417人	950人	433人	824人	301人	954人	370人	123人	416人
学校数	20校	22校	13校	19校	8校	20校	19校	6校	14校

(戦略の実行)

いたばし地域
クラブの
新クラブ

部活動の
運動部種目

区立中学校
全体(22校)

誰もが
主人公

地域移行成功のカギはステークホルダーに「新しい価値」を提供できるか

キーワード

リーグ戦方式

アフターマッチファンクション

オールスター戦

教員の兼職兼業

学び続ける指導者

(完全地域移行のコスト)

部活動指導員	44名
勤務日数時間	年間 225日／740時間
報酬額	1時間 2,000円(その他期末手当あり)
配置イメージ	1校につき2名 区内全22校に44名
当初予算総額	107,584,000円(その他費用含む)

部活動『地域連携』に係る民間企業との取組 (公費でも自己負担でもない道探し)

